

## 令和5年度組織目標

部局名	知事公室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○庁内各所属と知事との橋渡し役として、知事の思いや考えを各所属に的確に伝えるとともに、職員の声を知事に届ける 目標： ・一人ひとりすべての職員のモチベーションアップを図りながら、事業の効果的な実施や施策の芽出し等につなげる。
	○共感・行動・参加につながる広報・広聴の推進 目標： ・各部局の連携をコーディネートし、全庁一体で時流を捉えた効果的な情報発信を実施し、滋賀の認知度、魅力度、愛着度などを向上させる。 ・多様なチャンネルから寄せられる県民等の意見やニーズを各部局へ共有しサポート。
	○防災の日常化の浸透 目標： ・災害教訓を振り返りながら、本県で発生する次の災害に対していかに備え、対応するかについて、日常的に職員が意識する機会を増やす。
	○ペーパーレスの推進、消費電力の削減によるCO2の発生抑制 目標： ・協議資料・答弁資料・記者提供資料のペーパーレス化の徹底、危機管理センターの消費電力抑制

所属名	秘書課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○庁内各所属と知事との橋渡し役として、知事の思いや考えを各所属に的確に伝えるとともに、職員の声を知事に届ける。 目標： ・一人ひとりすべての職員のモチベーションアップを図りながら、事業の効果的な実施や施策の芽出し等につなげる。
	○広い視野と部局横断的な視点を持ちながら、適時・適切な情報収集と知事への情報提供を行う。 目標： ・知事の政策判断を効果的・効率的にサポートする。
	○【見直し・効率化】ペーパーレスの推進 目標： ・協議資料等のペーパーレス化の徹底

所属名	広報課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○子ども・若者向け広報・広聴の開始 目標： ・新たに開設する子ども向けポータルサイトでの情報発信や、次世代県政モニターからのアンケートなどを活用し、子ども・若者の声を県の施策に反映させていく仕組みを構築する。
	○滋賀県広報戦略に基づく広報・広聴の実践 目標： ・広報戦略会議を活用した庁内各部局、民間企業や市町との連携を牽引し、効果的な情報発信を実施する。 ・職員への研修・相談を通じて、情報の受け手側のニーズや視点に立った発信の実践、「滋賀ならではの」の魅力や取組などの素材の発掘につなげる。
	○【見直し・効率化】広報DXの推進による各種事務効率化の検討 目標： ・R8年度に予定している県HPの改修、R5年度中に予定している改修方針の策定にあわせ、各種広報業務の効率化を検討する。

所属名	防災危機管理局
R5年度に特に注力する事項（目標）	○誰一人取り残されない防災の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な避難所運営に向けた市町支援</li> </ul> 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策本部機能強化のためのリアル防災訓練の実施</li> <li>地方本部の情報収集と災害対応業務の実効性向上</li> </ul>
	○実効性のある自然災害、原子力災害対策等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>職員の対応能力向上のための防災人材育成プログラム作成</li> </ul> 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>国、関係機関等との連携による実践的な訓練実施と実効性検証</li> </ul>
	○次なる感染症発生に備えたコロナ対応の振り返り 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>7月に素案を公表し、県民に意見照会</li> <li>有識者等の意見を聴いて年内に最終案をとりまとめ</li> </ul>

局内室名	防災危機管理局 危機管理室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○防災対応力の向上に資する防災情報収集・活用の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>庁内、市町、消防をはじめ幅広い関係機関を対象に調査の上、防災情報システムの見直しに着手し、防災情報プラットフォームの構想素案を作成</li> </ul>
	○次なる感染症発生に備えたコロナ対応の振り返り 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>7月に素案を公表し、県民に意見照会</li> <li>有識者等の意見を聴いて年内に最終案をとりまとめ</li> </ul>
	○【見直し・効率化】DXを活用した業務の省力化・効率化 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理センターの使用申請・承認、使用料支払等を電子化</li> <li>防災情報システムの運用を統一化し、情報収集作業を迅速化</li> </ul>

局内室名	防災危機管理局 防災対策室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○女性の参画による防災力の向上 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>関係者に粘り強く働きかけ、防災会議女性委員の比率40%以上</li> </ul>
	○誰一人取り残されない防災の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な避難所運営に向けた市町支援</li> </ul> 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策本部機能強化のためのリアル防災訓練の実施</li> </ul>
	○【見直し・効率化】DXを活用した災害対応の効率化 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>地方本部の情報収集等、災害対応業務の実効性向上を検討</li> <li>許認可等を除き、電子決裁率を向上：90%</li> </ul>

局内室名	防災危機管理局 原子力防災室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○緊急時対応能力の向上：訓練等を通じた国や関係機関等との広域的な連携の深化と原子力防災要員のスキルアップ <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携による県外避難（図上訓練）の実施</li> </ul> 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度に応じた原子力防災訓練の実施</li> </ul>
	○防災体制の充実強化：各種資機材の計画的な更新・維持管理とリスクコミュニケーションの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>機器トラブル等に適切に対応し、24時間365日稼働体制の確保</li> </ul> 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>安定ヨウ素剤の服用方法等が理解できた住民：95%以上</li> </ul>
	○【見直し・効率化】小規模イベント事業の廃止、本庁と地方本部等でのデジタル帳票の活用による情報共有の効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども向け啓発方法の見直し（放射線実験教室開催事業を廃止し、教員や子ども向け出前講座を強化）</li> </ul> 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>広域避難計画、緊急時モニタリング要領の様式見直し：100%</li> </ul>